

令和7年度 学校評価

1 学校目標

神社神道を建学の精神とし、敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。
生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り、個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

2 中期目標

1 学校運営
(1) 神社神道の精神である「浄・明・正・直」を実現する ア) 授業・学校行事を通して神社神道の「こころ」を体得する イ) 奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う
(2) 教員研修の充実 ア) 道徳教育推進委員会による道徳研修会の実施 イ) ICT教育推進のため、各種研修会・発表会・見学会の参加
(3) 学校施設の充実 ア) 学習施設の整備充実 イ) 校内学習補助機材等の充実
(4) 危機管理体制の確立 ア) 水・食料・レスキューシートの備蓄 イ) 防犯訓練・避難訓練の実施(大阪880万人訓練の日)
2 基本的生活習慣の確立
(1) 人権教育 ア) 生活実態調査 イ) 道徳の授業と関連させた人権教育
(2) 生活指導 ア) 正門での登下校時の指導 イ) いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施 ウ) 服装・頭髪等の指導 エ) 中学朝礼での、生徒生活指導部長・教務進路指導部長からの注意
(3) 講演会、講習会の実施 ア) 薬物乱用防止教室の実施 イ) 防犯教室の実施 ウ) 人権研修会 エ) ネット犯罪防止教室の実施 オ) 自転車通学者安全教室の実施
3 学力向上と進路
(1) 教科指導の強化 ア) 教員研修会の実施 イ) 道徳教育の実践による教員のスキルアップ

- (2) 英語教育の強化
 - ア) 英語検定全員受験による教員のスキルアップ
 - イ) イングリッシュキャンプの実施
 - ウ) オンライン英会話の実施
 - エ) 土曜日3Sでの英語関係の取り組みの推奨(外部講師、本教員による)
 - オ) 語学研修の実施
- (3) 講習等の実施
 - ア) 放課後講習の実施 [すらら(自立学習支援システム)の活用]
 - イ) 長期休暇中の講習実施 [すらら(自立学習支援システム)の活用]
- (4) ICT教育の推進
 - ア) ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
 - イ) 生徒1人1台のchromebook配布
 - ウ) 研究授業実施(電子黒板・chromebookを活用した授業研究)
- (5) 外部講師による特別授業の実施
 - ア) 道徳授業
 - イ) 防犯教室

4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
 - ア) 年2回の授業参観の実施
 - イ) 学期毎の成績懇談の実施
- (2) 保護者との連携と情報発信
 - ア) 保護者参加型の行事を実施
 - イ) Classi及びホームページでの情報発信
- (3) 地域活動への参加
 - ア) 地域イベントへの参加
 - イ) 吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)
- (4) 奉仕委員会
 - ア) 地域での奉仕活動

中間目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	
学校運営	(1)神社神道の精神である「浄明正直」の実現	ア)授業・学校行事を通して神社神道の精神を学び、成長の糧とする。毎月1日の学院神社の参拝、伊勢HR合宿を実施	学校の中心な取り組みとして、道徳の授業・総合的な学習の時間と関連させて実施する。	行事(一斉参拝・春季例祭・秋季例祭・伊勢HR合宿)と授業(総合神道・道徳)を連携させて実施した。	
		イ)奉仕活動を積極的に実施し、奉仕の精神を養う。	車いす神社参拝プロジェクトの実施	6月7日に住吉大社にて実施。32名の生徒が参加。車いすの方の参拝ルートの設定やチラシ作成、ボランティア募集など生徒が自ら働きかけ、実践した。 11月2日に鴨川清掃ボランティアに14名が参加した。	
	(2)教員研修の実施	ア)道徳教育推進委員による道徳研修会の実施	学校内での研修会と外部の研究会への参加	4月2日に松尾大輔先生による道徳研修会を実施した。	
		イ)外部講師を招いて、教職員全体の研修会を実施	「不登校生徒の予防と対応」をテーマに研修会を実施	6月12日に米谷修氏を講師に招き「外国人生徒・保護者への支援について」と題し実施した。	
		ウ)ICT教育関連の研修会・発表会・見学会の参加	研修会・発表会・見学会の参加と研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業を実施し、4月にICT(すらら)研修会を実施した。	
	(3)学校施設の充実	ア)学習施設の整備充実	常に必要な機材等の検討を行う。生徒にとって必要な機器の充実を検討する。	新校舎となり、全教室86型ディスプレイ電子黒板・全校広域Wi-Fi・生徒サロン・オールジェンダートイレ等が設置された。	
		イ)校内学習補助機材の充実			
	(4)危機管理体制の確立	ア)水・食料・レスキューシートの備蓄	全校生徒に最低1日分以上を確保する。	総務部を中心に規定数を確保し、学校倉庫にて保管している。	
		イ)防犯訓練・避難訓練の実施	洪水が発生した場合を想定して実施する。	4月3日に教職員の避難訓練を実施した。 11月6日に全校生徒による防災訓練を実施した。	
		ウ)住吉消防署による防災訓練	年1回、中2対象で実施する。	本年度は実施せず。	
	基本的生活習慣の確立	(1)人権教育	ア)生活実態調査	各学年1学期に1回実施	4月10日に実施した。
			イ)講習会及び体験学習の実施	各学年2学期に実施	6月5日、中1にて宮本延春氏による「いじめ」を中心とした講演会を実施した。 11月13日、全学年対象に「水平社運動」について実施した。 1月22日、全学年対象に「食べる権利を考える」をテーマにフードロスについて実施した。
ウ)道徳の授業と関連させた人権教育			道徳教育推進委員会で検討実施	道徳教材に関連づけ計画的に実施した。	

基本的生 活習慣の 確立	(2)生活指導	ア)正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通り実施しており、定期考査 などでは最寄り駅までの通学路を 巡回した。
		イ)いじめ防止マニュアルに 添った、いじめ実態調査アン ケートの実施	学期に1回実施	6月12日・11月25日に実施した。
		ウ)服装・頭髪等の指導	月1回の全体指導	予定通り実施した。
		エ)中学朝礼での生徒生活指 導部長からの注意	月1回の全体指導	予定通り実施した。
	(3)講演会・講習会の 実施	ア)薬物乱用防止教室	中高合同で実施	11月20日に中1・高1にて実施し た。
		イ)防犯教室	中高合同で実施	2月27日に全学年で実施した。
		ウ)人権研修会	各学年で実施	11月13日・1月22日に実施した。
		エ)ネットトラブル防止教室	中高合同で実施	4月7日に中1・高1にて実施した。
	オ)自転車通学者安全講習会	中学各学年で実施	4月7日に1年生、4月8日：2・3年 生で実施した。	
学力向上 と進路	(1)教科指導力の強化	ア)教員研修会の実施	教科別研修会の実施	学期毎に教科内で先生方の授業を 見学し、意見交換した。
		イ)道徳教育実践による教員 スキルアップ	毎週の道徳授業の実践	毎週実施する中で、生徒の反応や レポートを見て、振り返りを行い 次の授業に生かすようにした。
	(2)英語教育の強化	ア)英語検定の全員受験	3学期に実施	5月30日に中1全員、中2・3希望 者で実施した。1月16日は全員受 験を実施した。
		イ)イングリッシュキャンプ の実施	夏期休暇中に校内で実施	8月19日～8月22日に多聞尚学館に て実施した。
		ウ)オンライン英会話の実施	各生徒毎週1回実施	予定通り実施した。
		エ)土曜日3Sの英語関係の取 り組みの推奨	2学期から実施	外部講師・本校教員による講座を 複数回実施した。
		オ)語学研修の実施	3月に校外で実施	3月8日～3月15日に、ニュージ ーランドのオークランドにて語学研 修を実施した。
	(3)講習等の実施	ア)放課後講習の実施	全学年I類生徒への講習を 実施。すらら(自立学習応援 プログラム)を活用	本年度は実施せず。
		イ)長期休暇中の講習実施		7月22日～7月31日まで夏期講習を 実施した。
	(4)ICT教育の推進	ア)ICT教育先進校・研究会・ 展示会参加	学校訪問・研究会・展示会 に参加。電子機器を使用し た研究授業を実施	電子機器を使用した授業はすべて の授業で行っており、いつでもど の教員の授業も見ることができ る。
		イ)生徒に1人1台の chromebookを配布	中学1年生全員に chromebookを配布	4月7日に配布した。
		ウ)研究授業の実施	電子黒板・chromebookを使 用した授業実践	計画通り実施した。
	(5)外部講師による特 別授業(出前授業)の 実施	ア)道徳の専門家による道徳 の授業	道徳教育推進委員会により 実施	7月30日に伊勢HR合宿において、 皇學館大學の渡邊毅氏による授業 を実施した。
		イ)警察官による防犯教室	住吉警察署と連携して実施	2月27日に住吉警察少年課による 大麻・薬物の公演を実施した。

保護者地域に開かれた学校づくり	(1)保護者による授業参観と懇談	ア)授業参観の実施	計画的に実施	4月25日に授業参観を実施した。
		イ)成績懇談の実施	学期毎(7月・12月・3月)の実施	7月・12月・3月に3者懇談を実施した。希望者にはリモートで実施した。
	(2)保護者との連携と情報発信	ア)保護者参加型の行事を実施	学期毎に実施	体育大会・浪速祭を実施した。また、4月・11月に保護者懇談会を各学年で実施した。
		イ)classi及びclassroom、ホームページによる情報発信	classi及びclassroom、HPを活用した保護者への情報提供	classi及びclassroomにて、日々配布物等のお知らせを掲載した。また、修学旅行・語学研修ではHPにブログを作成し情報を提供した。
	(3)地域活動への参加	ア)地域のイベントに参加	積極的に参加する。	7月7日～8月20日で行われたみてよし・すみよし地域イベントチャレンジ選手権に参加した。 6月15日に藤井寺市立市民総合会館で行われたレインボーコンサートに参加した。 11月2日に堺市教育文化センターで行われたオータムコンサートに参加した。
		イ)吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)	3月に実施	3月31日に実施した。
	(4)奉仕委員会	ア)地域清掃奉仕活動	計画的に実施	鴨川清掃ボランティアに参加した。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒について</p> <p>授業アンケートから各授業に対し興味をもって受けている生徒は80%を超え、授業に満足している生徒が77%、その中でレベルが高くて満足している生徒が昨年同様24%となった。在籍している生徒の学力からみても多くの生徒が授業に向き合え、生徒にあわせた授業が展開できていると考えられる。しかし、レベルが高すぎてついていけないという生徒も12%弱居り、内容理解に時間がかかる生徒やサポートが必要な生徒に対しどのようにアプローチしていくかが現状の課題である。</p> <p>1時間の授業時間が45分と短くなった分、ベル着の徹底を指導していることで、ベル着ができていない生徒の割合が年々減少し、昨年度は3%ほどであったところ、今年度は2%強となった。</p> <p>生徒自らの勉強する力を育てるため、すららという学習支援システムを導入しchromebookで取り組ませているが、放課後や3S、家庭学習の習慣をつけるため長期休暇を挟む時期にすららカップ(学習時間を競う大会)を取り入れた。</p> <p>内容理解に時間がかかる生徒やサポートが必要な生徒は、じっくり時間をかけて取り組む意欲を出させることが必要で、レクチャーがついているすららや、すぐに質問ができる2Sを活用するよう促していきたい。また、2Sは高いレベルの内容に取り組む生徒にも多く活用してもらいたい。</p> <p>学校全体の9割近くの生徒がクラブに所属し、多くのクラブで良い結果を残してくれている。勉強だけ、クラブだけではな</p>	<p>○生徒</p> <p>勉学にスポーツと多岐にわたりそれぞれの目標を持ってご入学し、高みをめざし学校生活を日々楽しんでおられます。個々に規律を持ち、子供さんらしく伸び伸びされておられます。日々進化する教育環境にも柔軟に順応なさっており、浪速の校風の家庭的な環境の中学校をお楽しみになられています。</p> <p>新校舎前で無邪気に走り回る生徒の姿、のびのびと学校生活を楽しんでいる生徒が多くエネルギーを感じます。精神的肉体的成長が著しい難しい中学の時期、自分自身と向き合う大切さ、守られた環境で生活ができていることをしっかり自覚できる心の成長も期待しています。多くの取り組みに生徒自らが自分の時間をどう使い分けるのかを意識し、学力の基礎を身に付けてほしいと思います。</p> <p>○保護者</p> <p>日々教育環境が良くなる浪速を好んで子供さんをご入学されています。先生方の家庭的なご対応に満足し、クラブなどにも積極的に応援なさり顧問の先生を熱烈にご指示なされています。家庭的な学校校風に非常にご満足なさっておられます。</p> <p>体育大会など生徒と過ごす時間を共有させていただくと、保護者間での浪中生の素直さの会話が多々耳に届きます。これからも変わらぬ生徒の姿を期待しています。異常気象やSNSに絡む世情などありますが、行事の継続的实施をお願いします。</p>
<p>○保護者について</p> <p>今年度は4月に授業参観にて、Googleフォームでアンケートを実施した。とてもよかった69%、よかった26%を合わせ95%と好評であった。保護者にとってみては、子どもの学校のようすを見ることのできる数少ない機会であり、クラスの様子もわかり、友達の把握ができると個別でご意見をいただいている。体育大会や合唱コンクール、浪速祭では多くの保護者が来校されている。体育大会では積極的に競技に参加されたりと、生徒のために動いていただいている。</p>	<p>○教職員</p> <p>職員室に入らせていただきますと先生方の爽やかなご挨拶ご対応がいつも清清しくお見受け致します。神社神道の道徳心を子供さんにきちんとお教えされ、常に真摯に家庭的に和やかにご対応されています。幾年にも家庭的な面倒見のいい伝統がさらにIT化し進化されているように思います。区内のどこの職員室より先生方は真摯で爽やかです。</p>
<p>○教職員について</p> <p>中学校教員のアンケート結果を見ると、学校運営については、建学の精神や愛校心、校内研修など多くの項目でほぼ100%となっている。しかし、地域交流については昨年度よりは上昇したものの92%となった。来年度には清掃活動などを取り入れ、100%を目指したい。</p> <p>教育内容についてもほぼ100%の結果となったが、校則の厳守や進路意識の向上で改善をする必要がある。</p> <p>教員の資質向上では、外部の研修会等に参加する機会がとれるよう検討する。</p>	<p>先日の参観道徳の授業内容では、授業始まり取り掛かりの子供の着目点を意識され、思考の導きを促しつつ、学習定着につながる流れを拝見しました。凝縮された時間で、先生方の研鑽を感じました。学校生活は、常に問題意識を持ち、きびきびと対応される様子を拝見しております。学校現場でのご尽力に感謝いたします。</p> <p>中学3年・高校3年で中高一貫の浪速だから学べることを意識したカリキュラムを期待しています。</p>

また、進路意識の向上や進路相談について意識が弱く感じている教員も居る。内部進学が前提であるため、進路の意識が低いと考えられる。大学進学や将来の職業を見据えた進路指導の機会をつくったり、1Sにていろいろな職業について中学生でも受講しやすい講座を検討する。

○分析

浪速中学校の教育環境については、新校舎が竣功されたことでさらに充実したものになった。そのことが生徒数の増加にも繋がった。習熟度別授業の実施は生徒の実力に合わせて授業ができるため、好評である。また、HPやインスタグラムで日々の学校生活の様子を発信することで、保護者などに知ってもらえることができ、保護者連絡システム(Classi)の活用で連絡しやすい環境も整っている。この教育環境を最大限に活用し、多様化する生徒の学力向上や思考力を育成するために今後もICT教育に力を入れ、真摯に取り組むことが必要である。また、教員一人ひとりの教育力をあげるためにも、今の現状出ている問題を解決するための研修や自己研鑽などの時間をとりやすい環境を整備し、研修情報などを開示するなど工夫が必要である。

浪速中学校では、生徒の様子を常に細やかに観察し、問題の未然防止・早期解決につなげる努力をしている。これができるのも、教員の意識が高いことと、保護者との連携が取りやすい環境にあることと考える。今後も良い教育環境を充実させるべく、取り組んでいきたいと考える。

○その他

日々面倒見良く子供たちのさらなるご成長を援護する校風。勉学はもちろん、クラブ活動でも高見を目指し、生徒さん、先生方、保護者様が協和し進化を止めない学校です。浪速中学校は子供さんらしく伸び伸び可愛らしく、きちんと規律を指導なさる先生方の教えを吸収されています。

若い教職員も増えているかと思えます。教育関係の研修会や講習会等のみではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思えます。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思えます。

いかなる事にも素早く対応できる様に、危機管理を最大限に持って、素早く対応できる様に準備いただきたいと思います。

中学生と云えども一年生は小学校の延長だと思えますので、生活指導や学習指導はご苦労されていると思えます。90%がクラブに所属している点は素晴らしいことです。

良いことも悪いことも、先輩・後輩との関係で身に付け判断基準が備わると、人間関係コミュニケーション能力の成長に繋がりますので評価いたします。

「生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する」ことを具現化する為、様々なプログラムを取り入れ実践されていると感じます生徒・教職員・保護者の一体感が強く感じられ、中学生という多感な時期を正しく導いていただけていると考えます。

4 令和7年度の対策とその結果、および令和8年度に向けた改善について

・地域との交流の活性化について

浪速祭は地域の方々との交流の場であったが、生徒数の増加に伴い、生徒の家族のみの参加となり地域との交流という面では関係性が薄くなっていていた。しかし、令和7年度においてはベーカリーショップ・ブルによる地域の方々への一般販売や天空レストランを改め浪速フードコートを始めることで開かれた学校に向けて始動した。学校運営に関し、地域の方々のご理解とご協力は非常に重要であるため、交流を活性化させ、浪速中学校の生徒を知っていただくべく、実施方法等を見直していく必要がある。

住吉区まちづくりセンター主催の地域イベントチラシ選手権に参加し、昨年度好評を得た「車いす de 住吉大社参拝プロジェクト」に今年度も参加し、令和7年度@スクール SDGs 部門表彰校として大阪府こころBOOK2026にも掲載された。来年度は、コロナ禍以前に行っていた周辺地域の清掃活動を生徒会主導で復活させ、浪速中学生を地域の方々に知ってもらえる機会を増やしていきたいと考えている。

・学校週5日制における土曜日の活用方法について

クラブ活動に全力に取り組む生徒が多い中、3S(Saturday something special)を利用する生徒も増え、特に2S(SELF-Study)を利用する生徒は前期後期合わせて228名となった。前期では中1が多く申し込んでいるが、後期では受験を意識した中3が多く申し込め、熱心に勉強に励み、土曜の勉強の習慣化ができてきたように感じる。1S(OWN-Selection)では、テスト前に開講された定期試験対策講習に多くの生徒が参加し、中学生に人気の講座は英検対策講座であった。勉強以外の講座では、株の投資や税金などの話は興味を持っている生徒が多いが、90分間講義を聴くことや講義内容の難易度によって受講者数が少ない現状も考えられる。来年度に向け生徒にアンケートをとったところ、からだを動かしたり、物を作ったりしたいという希望が多かったことから、生徒の興味に合致した講座の拡充を画策している。

・心の教育について

道徳教育は、心の教育をする上で本校になくてはならないものであり、学校全体で注力している。道徳の授業により、友達と意見が違っても受け止められるようになったと感じている生徒が増えてきている。引き続き、他を理解し尊重する心が育つよう、道徳の授業に奉仕活動も絡めつつ生徒の育成に努めたい。

・より実践的な自然災害に対する備え等について

生徒の増加と共に、新校舎が竣工され校舎内が複雑化してく中、確実に生徒を安全な場所に避難させる難易度は確実に上がっている。近年多発する自然災害や、近い将来来るであろう大地震に対応すべく、教員の避難訓練を実施した。避難経路の確認と共に、指示系統等に関する周知徹底を図った。また、総務部を中心に備蓄用品の量や種類に関しての見直しを行った。